

みんなdeスポーツ！ わが町の取り組み

②8

大阪府

大阪の特別支援学校が取り組んでいるスポーツ大会を紹介します。「大阪スポーツフェスタ」は、30年以上前に、当時の養護学校の体育教員が中心となり、在学生や卒業生のためのスポーツイベントとして、関係機関やボランティアの協力を得て開催してきたスポーツ大会です。

毎年、4日間で陸上、サッカー、ソフトボール、バスケットボール、ボウリング、水泳、卓球、フライングディスク、レクリエーションの9種目が行われます。現在の主催は大阪知的障がい者スポーツ協会です。大会を支えるのは多くの協賛の方、教員や保護者に加え、高校・大学生など30以上の団体からのボランティア



スポーツフェスタでのバンザイ三唱

参加者全員にメダル贈りバンザイ三唱

イアです。府内の知的を中心とした支援学校、支援学級、作業所など100以上の団体から2千人を超える参加があります。この大会の特色として、参加者は参加賞を含め全員表彰台に立ってメダルをもらえます。その際、バンザイ三唱を行うのが恒例となっています。バンザイ隊は支援学校の管理職が務めるのが慣例です。

また、「大阪支援学校スポーツ大会」も府内の特別支援学校のスポーツ交流のために20年以上前に始まりました。陸上、サッカー、フレンドリーサッカー、バスケットボールの各大会を年間通して数回開催しています。陸上は300人余り、バスケットボールやサッカーは30近くのチームが参加しています。

肢体不自由支援学校においてもボッチャなどへの取り組みが始まっており、昨年東京であった「ボッチャ甲子園」に出場した学校もあります。今後、スポーツを通じた交流活動のますますの充実が期待されるところです。

(中島康明・大阪府立西淀川支援学校校長)